

# 北海道モビリティカフェ



## ◆北海道モビリティカフェとは？

みなさんは自転車に乗った時、何を感じるでしょうか。「自転車って楽しい」、「環境や健康にいい」、「もっと手軽に乗りたい」、「自転車を停める所がない」など、様々な思いがあるはずですよ。

「自転車の魅力を発見・発信しよう」との思いで、東京大学・北海道大学（株）ドーンによる産学研究グループが、10月10日・11日の2日にわたって自転車の魅力を再発見するイベント「北海道モビリティカフェ」を企画・実施しました。

このイベントでは、期間限定の「乗り捨て自由なレンタサイクル」を使い、参加した学生たちが街の魅力や自転車走行の問題点などを発見するために札幌市内や近郊を走行しました。そして、sapporo 55ビル1階のインナーガーデンに設置されたモビリティカフェでは、一般の方々に学生たちの走行の様子が公開されたほか、自転車の魅力や問題点、海外の自転車事情などが紹介されました。

また、モビリティカフェに集まった学生たちにより公開ワークショップが開催され、自転車に対するそれぞれの熱い思いが語られました。

**北海道モビリティカフェ**  
北海道モビリティカフェは、自転車の魅力を発見・発信する2日間のイベントです

自転車に乗るといつもと違う新しい発見がある  
そんな風に感じたことはありますか？

どこでも借りられてどこにでも乗り捨てられる自転車がある  
そんなレンタサイクルがあったら、楽しいと思いませんか？

平成20年10月  
10月10日(土) 10:00-18:00  
10月11日(日) 10:00-16:00

sapporo55  
1F インナーガーデン  
札幌市中央区北5条西4丁目2番地  
札幌市職員会館自転車出入口



## ◆学生が走行したサイクリングコース

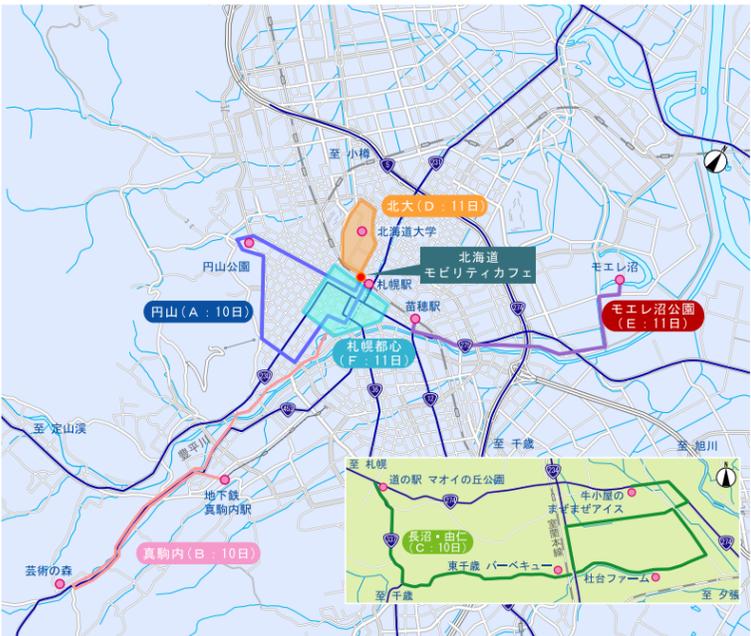
学生は3つのグループに分かれ、駅などに設置された仮想のポート（駐輪場）の中から好きな場所まで自転車を借りたり返したりしながら魅力あるルート（左図）を走行しました。

## ◆コミュニケーションツール

学生は自転車レンタルの予約や位置情報、コメント付き写真データをカフェへ送信する機能が付いている携帯電話をコミュニケーションツールとして利用しました。



携帯による予約システム



## ◆実走・ワークショップを通じて・・・

レンタサイクルを体感してきた学生たちが行った公開ワークショップでは様々な意見が発表されました。

●沿道の風景やお店など、自転車でないと気がつかない魅力を発見した。

●走行中に雨が降ったり、体力的に辛くなったりなど、乗り捨てができるのは魅力的で安心感がある。

●市内の観光スポットは自転車でもわるのちょうど良い距離で「楽しく観光」することができた。

●サイクリングロードをもっと走りやすく楽しくする工夫が必要と感じた。



## ◆欧州のレンタサイクル

欧米諸国では環境に優しい自転車の利用を見直し、安全で快適な自転車道の整備が進んでいます。パリには20,000台の自転車と1450箇所のステーションが配置され、好きなステーションで乗り捨てできるシェアバイク「ヴェリブ」が注目されています。



自転車は多くの可能性を秘めています。しかし自転車走行レーンの少なさ、マナーの問題など、多くの課題が残されているのも事実です。

北海道モビリティカフェの実施主体である産学研究グループは、「今後も新しい自転車文化の創造に向けて、日々研究活動を展開していきたい」としています。

## 【北海道モビリティカフェ】

実施・運営主体：東京大学・北海道大学・株ドーンによる産学研究グループ  
協力：株サイクル小野サッポロ・キャリアバンク（株）